10.19いのちまもる総行動

全てのいのちをまもる社会の実現へ

声を上げていこう！

脆弱（ぜいじゃく）な医療・社会保障の抜本的な立て直しをアピールする「10・19いのちまもる総行動」が10月19日に日比谷野外音楽堂で行われました。友の会3名、職員5名の声をお届けします。

全国から約3000名が集まりました。保育現場・介護現場・看護現場・医師・歯科医師からリレートークがあり、働く人の実態をもっと多くの人に知ってもらいたいと思いました。集会後、銀座通りをシュプレヒコールしながら、横断幕や幟旗を持って東京駅の近くまでパレード。若い職員には良い経験だったと思います。

千秋支部　上平　安秋

■

保育現場の報告から、30対1という配置基準では、子どもたちに寄り添った保育はできないと感じました。安心して暮らせる社会の実現には、日ごろ関わる医療・介護分野に加え、保育など福祉の分野に関心を持つことも大事で、政府や自治体などへ働き掛けていく必要性を改めて感じる機会となりました。

本部　社会活動部　中尾　忍

■

3年以上続くコロナ禍で、日本の医療・公衆衛生体制の脆弱性により、私たちが働く施設でも対応に苦慮しました。その状況が今なお続く中で政府には、医療費抑制政策や防衛費の大幅増額や健康保険証の廃止やマイナ保険証を強要する動きがあります。集会でも医療・介護・福祉現場の方々が厳しい現状と公衆衛生体制の充実、待遇の改善、大幅増員を訴えていました。今こそ立ち上がり、声を上げていく必要性を感じました。

老健ちあき　もみじ棟　福山　省吾

■

決起集会では国の誤った政策により医療・介護・福祉への補償が脆弱になり、さまざまな職種の人たちが憤りを感じながら生活を送っている現実を知りました。今後は地域の「いのち」と「暮らし」を守るために、小さくても声を上げ、周囲に賛同を求めていきます。

千秋病院　リハビリテーション科　近藤　輝吉

■

リレートークでは、コロナ禍での現状が語られ、医療・介護・保育それぞれの分野で同じような悩みを抱え、苦悩の中で日々奮闘されているのだなと共感し、力をもらいました。一人の声や力は小さくとも、今回の総行動のように集団となることで大きな声、大きな力となることを改めて感じました。今後も、地道な活動が大きな力となると信じて取り組んでいきます。

デイサービスセンター・ちあき　丹羽　俊貴

■

集会に参加して「マイナンバー一本化はやめて保険証を残せ」という訴えが一番強く感じました。病院の受付でも保険証を提出する方の方が多く、マイナンバーは少数派で、中には「こんな面倒な操作嫌だわ」と嫌がる方もいます。それを目の当たりにしているため、なおさら保険証と併用を考えてほしいと考えが強くなりました。

千秋病院　医療サービス課　片野　裕子

■

コロナ禍での医療機関の努力と苦労、健康格差をなくす取り組み、認知症予防のユニークな取り組みなどを、友の会などの住民団体と一緒に進めてきたという報告があり、大きな拍手を送りました。また、民主医療機関の民主とは、「人間の自由や平等を尊重すること」と知りました。友の会には、差額ベッド料を徴収しない千秋病院、医療・介護・福祉のさまざまな事業や活動と、住民をつなげる役割があることを確信しました。

北名古屋支部　早川　雅澄

■

尾張健友会の参加者は銀座経由で東京駅までのデモ行進に参加して総行動を盛り上げました。まだまだ国の医療制度には問題があり、さらなる運動が必要です。

稲沢支部　吉田　日支雄

愛知自治体キャラバン報告①

10月17～20日にかけて、「愛知自治体キャラバン」に延べ20名の職員が参加し、自治体と懇談しました。職員が質問・要望した内容（一部要約）と回答を紹介します。

●10月17日　岩倉市

岩倉デイサービスセンター・ちあき　中山　宏美

一宮市では要支援1・2と事業対象の方がデイサービスを今年10月から利用できなくなり、利用者さんの選択する権利を奪っている。岩倉市も同じようなことを行なう予定はあるか。

【回答】今のところ、行なう予定はない。

●10月17日　北名古屋市

千秋病院　医療福祉相談室　土居　彩乃

経済事情により特養・老健しか選択できなかったが、北名古屋市すべて満床で退院許可が出ても退院できない。本人の状態が安定しているタイミングで退院ができず困ったことがある。（報告）

●10月18日　江南市

藤が丘介護支援サービスセンター　中村　寛幸

ヘルパー減免の制度が終了し、利用料負担が1割から3割と増え、利用控えが始まっている。現状を踏まえ、新たな減免制度の検討の進捗を教えてほしい。また、ゴミ出し支援「ふれあい収集」は新たなサービスとして2022年より運用されているが、さらなるサービス拡充をお願いしたい。

【回答】9期計画に向けて検討中。詳細は伝えられない。

◇

千秋病院　医療福祉相談室　服部　あゆみ

グループホームや定期巡回の公募はありがたく、江南市のサービス向上につながるものだと考える一方、特養については、市民の財力によって選択できる施設類型やユニット型か従来型かなど異なる。実際に、ユニット型を希望する方は施設が取り合いになるくらいなのに、従来型しか選択できない方は待機が長期化する場合もある。待機者の実態を把握し、その特徴に合わせたサービスを準備してほしい。特養や小規模、福祉系サービスを大幅に増やし、待機者を早急に解消してほしい。（報告）

健友福祉会だより　ホームページ　http://www.chicki.com/fukushi

小さな願いごと　かなえます

藤が丘デイサービスセンター

利用者さんと何気ない話をしていると隣に古本屋さんができたことが話題になりました。

8月に米寿のお誕生日を迎えた利用者さんは本が大好きで、お話しすると「行ってみたい!!」と…。いつも読書を楽しみに来所されるTさんの小さな願いごとが見つかりました。

サプライズで本をプレゼントすることになり、職員と一緒に出掛けてお好きな本を贈りました。ご家族からは「好きな本を何度も自宅でも読んでいます。デイサービスを楽しみにいつも出掛けて行きます」と声を掛けていただきました。

おやつ作りでは、利用者さんから「いつも甘い物ものだから、しょっぱいお好み焼きが食べたい」とリクエストがあり、小さな願いごとの企画ができました。「昔は家でよく作って食べたね」と大好評でした。

これからも利用者さんの声を丁寧に聞き取り、小さな願いごとをかなえていきたいと思います。

介護福祉士　近藤　幸子

社会福祉法人尾張健友福祉会

ケアハウスちあき／地域交流スペース
デイサービスセンター・ちあき

藤が丘デイサービスセンター
介護保険サービスセンター・ちあき

岩倉小規模多機能ホーム・ちあき
岩倉デイサービスセンター・ちあき

特別養護老人ホーム・ちあき　第一　第二

萩原小規模多機能ホームちあき
萩原グループホームちあき

電話番号・ＦＡＸ番号は5面をご覧ください。